

Multi LABELIST V6 シリーズ Ver.6.1.2.0

トピックス

No.	内容	
1	機能追加	グローバル情報を利用したレイアウトのメンテナンス性を向上させました。
2	機能追加	RFIDエンコード機能を強化しました。(進数変換、2進数データ入力)
3	機能追加	対応機種にカラープリンタ「JP700-LC」を追加しました。

1. レイアウトのメンテナンス性を向上

対象	MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise	ML Component	ML Component Plus	ML Preview Component	ML WebEngineCS
----	---------------	-----------	-----------	-----------------	--------------	-------------------	----------------------	----------------

■機能紹介

MLデザインでグローバル情報が紐づいたレイアウトを開いた時に、変更内容を自動的に更新する機能に対応しました。

グローバル情報ファイル



グローバル情報の結合変数を変更

[商品名]+[商品コード]+[価格]



変更しただけでは**反映されない**
⇒レイアウトを開いて**手動で再設定**が必要

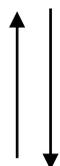


[商品名]+[商品コード]

レイアウトファイル



[商品名]+[商品コード]+[価格]



MLデザインで**レイアウトを開いた時に**
グローバル情報の変更内容を**自動的に更新**



[商品名]+[商品コード]+[価格]

2. RFIDエンコード機能を強化①

対象

MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise	ML Component	ML Component Plus	ML Preview Component	ML WebEngineCS
---------------	-----------	-----------	-----------------	--------------	-------------------	----------------------	----------------

■機能紹介

2進数、10進数、16進数を相互変換する関数や、計算で求めた2進数データをRFIDの入力データとする機能で、EPCエンコード(SGTIN、SSCC、GRAI、GIAI)以外のエンコード形式にも対応できるようになりました。

ユースケース

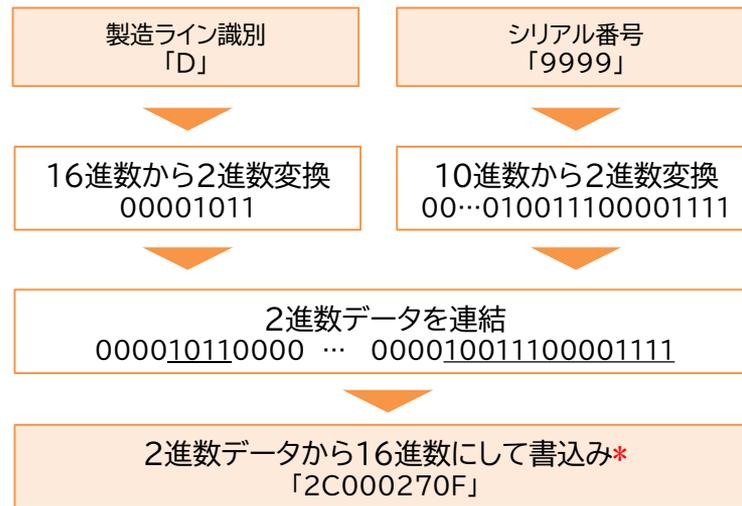
SGTINのシリアル番号の一部を、製造ライン識別として扱う。

■データ構成

SGTINのシリアル番号
38bit

項目	製造ライン識別	シリアル番号
bit数	8bit (1bit - 8bit)	30bit (9bit - 38bit)
入力データ	0~FF (16進数)	0~268435455 (10進数)

■エンコードのイメージ



*実際はシリアル番号単体ではなく、SGTIN-96全体で16進数のエンコードデータに変換

2. RFIDエンコード機能を強化②

対象

MLV6
Standard

MLV6
Lite

MLV6
Plus

MLV6
Enterprise

ML
Component

ML
Component Plus

ML Preview
Component

ML
WebEngineCS

■機能紹介

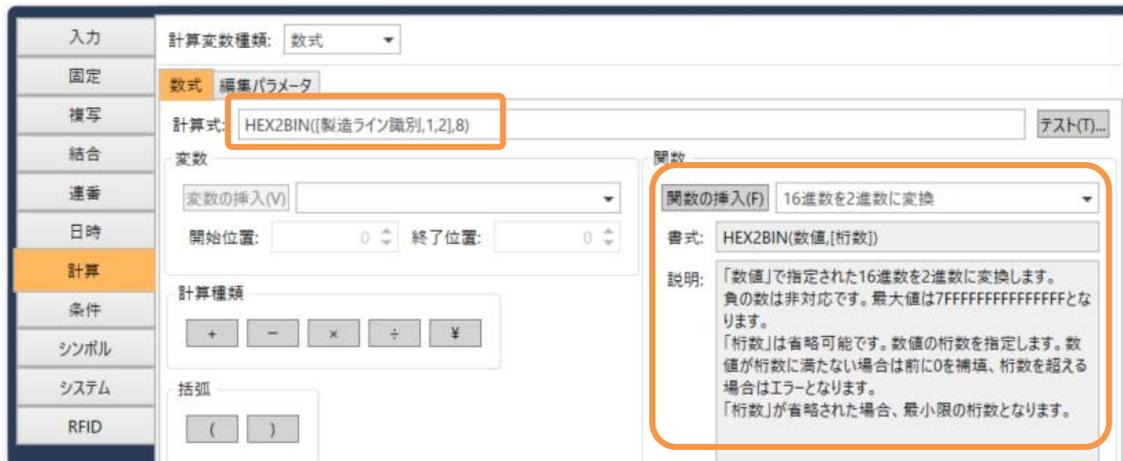
計算変数の数式に進数変換の関数を追加しました。

■使用例

HEX2BIN([製造ライン識別,1,2],8)

- ①16進数から2進数に変換
- ②入力変数「製造ライン識別」を参照
- ③結果を8桁にする

例) 製造ライン識別「23」 ⇒ 「00100011」



■追加関数一覧

機能	書式
2進数から10進数に変換	BIN2DEC(数値)
2進数から16進数に変換	BIN2HEX(数値,[桁数])
10進数から2進数に変換	DEC2BIN(数値,[桁数])
10進数から16進数に変換	DEC2HEX(数値,[桁数])
16進数から2進数に変換	HEX2BIN(数値,[桁数])
16進数から10進数に変換	HEX2DEC(数値)

2. RFIDエンコード機能を強化③

対象

MLV6
Standard

MLV6
Lite

MLV6
Plus

MLV6
Enterprise

ML
Component

ML
Component Plus

ML Preview
Component

ML
WebEngineCS

■機能紹介

RFIDオブジェクトの入力形式に「2進数データ(BINARY)」を追加しました。

■使用例

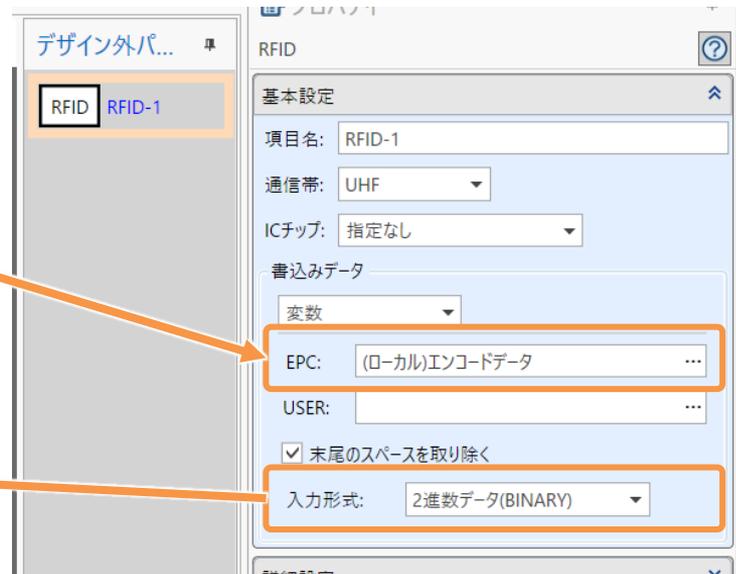
入力データを2進数に変換して、bit単位でエンコードデータを作成

No.	変数名	区分	桁数	詳細
1	製造ライン識別	入力	2	入力種類:文字
2	シリアル番号	入力	9	入力種類:文字
3	製造ライン識別(8bit)	計算	8	計算種類:数式, 数式:HEX2BIN([製造ライン識別,1,2],8)
4	シリアル番号(30bit)	計算	30	計算種類:数式, 数式:DEC2BIN([シリアル番号,1,9],30)
▶ 5	エンコードデータ	結合	38	指定文字削除:なし, 桁寄せ:なし, クロスチェック:なし
	製造ライン識別(8bit)	計算	8	計算種類:数式, 数式:HEX2BIN([製造ライン識別,1,2],8)
	シリアル番号(30bit)	計算	30	計算種類:数式, 数式:DEC2BIN([シリアル番号,1,9],30)

発行時に2進数を16進数に変換してRFIDタグへ書込み

計算・結合結果 : 000010110000 ... 000010011100001111

タグ書込み時のデータ : 2C000270F



3.対応機種にカラープリンタ「JP700-LC」を追加

対象	MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise	ML Component	ML Component Plus	ML Preview Component	ML WebEngineCS
----	------------------	--------------	--------------	--------------------	-----------------	----------------------	-------------------------	-------------------

■機能紹介

カラープリンタ「JP700-LC」に対応しました。



対応内容一覧

Multi LBEIST V6 Standard/Lite /Plus/Enterprise

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「6」に更新
機能追加	Plus版の対応機種に「JP700-LC」を追加
機能追加	RFIDオブジェクト(UHF、HF)で入力形式に「2進数データ(BINARY)」を追加
機能追加	計算変数の数式に2進数、10進数、16進数を相互変換する関数を追加(BIN2DEC、BIN2HEX、DEC2BIN、DEC2HEX、HEX2BIN、HEX2DEC)
機能追加	入力定義で編集表示の数式に2進数、10進数、16進数を相互変換する関数を追加(BIN2DEC、BIN2HEX、DEC2BIN、DEC2HEX、HEX2BIN、HEX2DEC)
機能追加	テスト発行のエラーメッセージに発行エラーの詳細を表示する機能を追加
機能追加	MLデザイン起動時にグローバル情報の変更内容を自動更新する機能を追加([オプション]-[基本設定]ページに「グローバル情報を起動時に更新する。」を追加)
機能追加	情報一覧(ローカル変数一覧、ローカルテーブル一覧、ローカルチェックテーブル一覧)に行No.を追加
機能追加	MLソートの振分項目の一覧に行No.を追加
仕様変更	Ver.6.0.3.0~Ver.6.1.0.0で作成されたレイアウトを使用しExcel接続設定でExcelファイルを選択し直した際に既存の設定が保持されるように変更
仕様変更	テーブル種類[Excel]でExcelファイルを選択し直した際に既存の設定が保持されるように変更
不具合	[プレビュー]ウィンドウで[Tab]キーや[Alt]キーを押下して[用紙方向]ボタンのフォーカスを切替えるとアプリが強制終了する件を対策
不具合	[基準日付]ウィンドウで[Tab]キーや[Alt]キーを押下して[システム日付]ボタンのフォーカスを切替えるとアプリが強制終了する件を対策
不具合	Ver.6.1.1.0で作成されたレイアウトでExcel呼び出しを行うと1行目のデータが誤って取り込まれる件を対策
不具合	MLプリントでレイアウトで使用しているグローバル変数が削除されていると、プレビュー/発行時にアプリが強制終了する件を対策
不具合	RFIDオブジェクトの通信帯を切替えてもデータの貼付/変数の情報が更新されない件を対策

対応内容一覧

Multi LBEIST Component/Multi LBEIST Component Plus/Multi LBEIST Preview Component

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「6」に更新
機能追加	ML Component Plus/ML Preview Componentの対応機種に「JP700-LC」を追加
機能追加	RFIDオブジェクト(UHF、HF)で入力形式に「2進数データ(BINARY)」を追加
機能追加	計算変数の数式に2進数、10進数、16進数を相互変換する関数を追加(BIN2DEC、BIN2HEX、DEC2BIN、DEC2HEX、HEX2BIN、HEX2DEC)

対応内容一覧

Multi LBEIST WebEngineCS

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「6」に更新
機能追加	RFIDオブジェクト(UHF、HF)で入力形式に「2進数データ(BINARY)」を追加
機能追加	計算変数の数式に2進数、10進数、16進数を相互変換する関数を追加(BIN2DEC、BIN2HEX、DEC2BIN、DEC2HEX、HEX2BIN、HEX2DEC)
機能追加	インストーラにプレビュー用フォント(SPFフォント)を追加
システム	MLWebComponent.dll、MLPreviewComponent.dll を Ver.6.1.2.0 に更新